

# ゆきよしクリニックでの 感染対策

平成26年7月19日 法人発表会

医療法人らぽーる新潟 ゆきよしクリニック

看護師 高橋裕子



各種消毒液



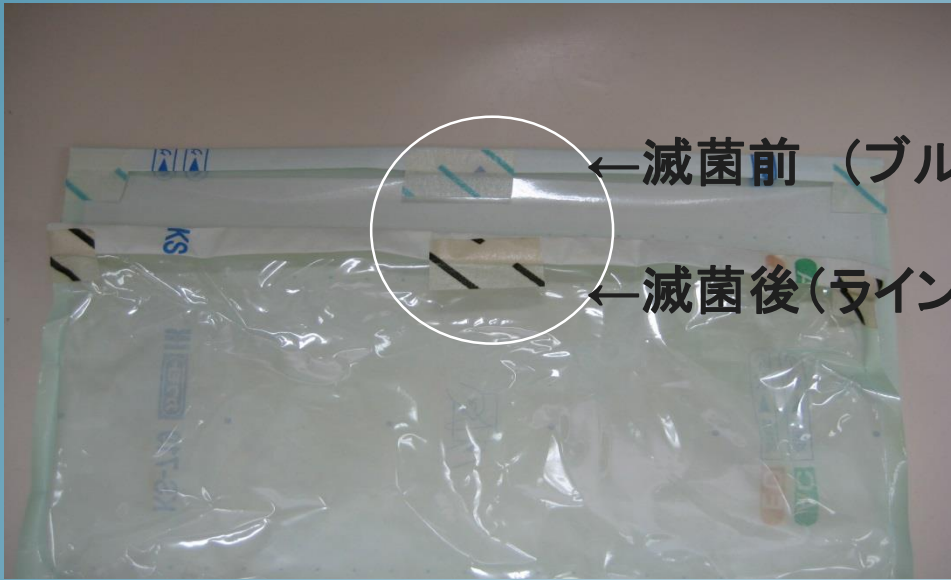
オートクレーブ  
(高圧蒸気滅菌)



超音波洗浄機

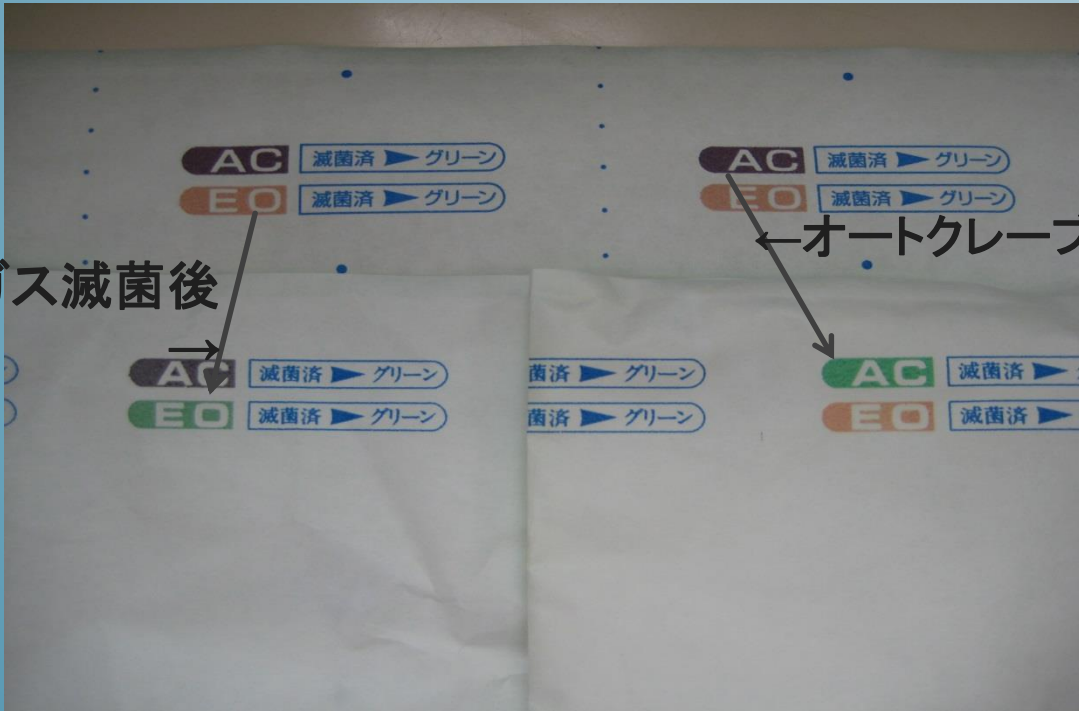


ガス滅菌  
(エチレンオキサイトガス)



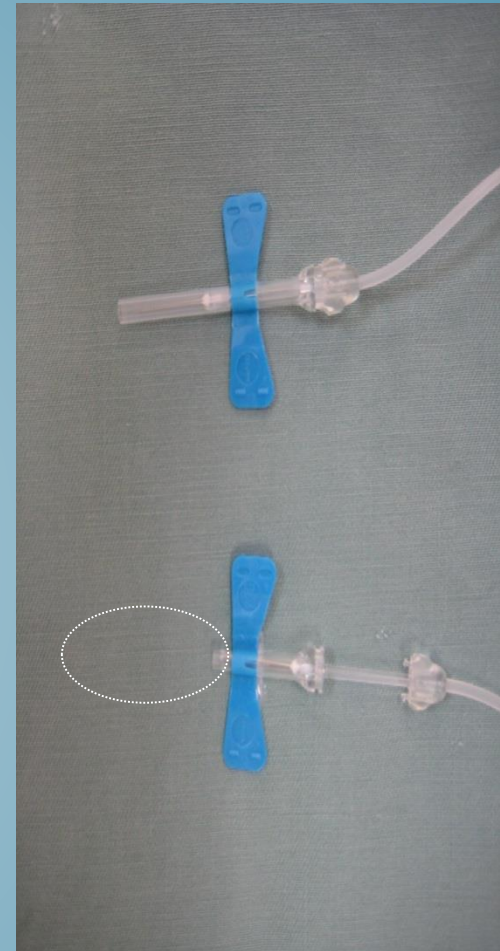
←滅菌前 (ブルーのライン)

←滅菌後 (ラインが黒に変化)



ガス滅菌後

オートクレーブ滅菌後



アトム針





キャップとマスクをして  
滅菌手袋を装着



介助者はガウンを不潔に  
しないように注意する



ガウンの表は清潔  
内側は不潔と考える





# 感染例1 2008年 谷本整形(三重県)

- 被害者 29人(うち1名は死亡)
- 原因 点滴調合時、クロルヘキシジンで刺入部を消毒  
作り置きし、セラチア菌に汚染された点滴
- 対策 点滴を作り過ぎない  
酒精綿のアルコール濃度UP  
1回分個包装へ





# 感染例2 2011年 銀座眼科(東京)

被害者 70人

原因 経済的利益を優先し施術数を増やした  
替え刃の使い回し  
未滅菌の点眼薬容器の使い回し  
手術器具の洗浄・滅菌を怠る  
(オゾン水による殺菌のみ)  
手指消毒も手袋も装着せず手術を行う

対策 インジケーターテープをカストの外側だけでなく  
カスト内にも入れ、確実に滅菌されたことを確認

